

三河の昆虫

No. 36

1989年1月

MIKAWA NO KONTYU

Published by

The Mikawa Insects Association

〒444 岡崎市明大寺町
西郷中 生理学研究所
技術課内
三河昆虫研究会 発行

三河本宮山のハムシ

山崎隆弘

諸言

三河本宮山(789 m)は東三河地方の代表的な山であり、古くから信仰の対象とされていて登山道も開かれている。行政的には新城市、宝飯郡一宮町、額田郡額田町、南設楽郡作手村の市町村界にあたる場所である。

ここは三河山地の南端に近く、北側では作手高原を経て奥三河山地帯へと連なっているが、南側は東三河平野を望む所に位置する。このため北上種および南下種の接点にあたる場所と考えられ大変興味深い地域である。

本宮山のハムシ科については既に神谷(1955)によって32種が記録されており、その後穂積(1985)による記録がある。その他若干種についての報告もなされている。

今回報告する当山のハムシ目録は、これらの既記録種と、額田町くらがり登山道に於いて1969~1988にかけて得られたハムシ科資料をもとに、ここにまとめてみたいと思う。

三河本宮山のハムシ科目録

Megalopodinae クビボソハムシ亜科

(4種)

1. *Liliocerus parvicollis* (BALY)

ホソクビナガハムシ (図1, F)

16-V, 1978 (1), 8-VII, 1979 (1), 28-V, 1988 (2), 27-VI, 1988 (1).

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。その他三河山地の各所で記録あり。

2. *Liliocerus rugata* (BALY)

キイロクビナガハムシ (図1, H)

8-VII, 1979 (1), 27-VI, 1988 (1).

本種は既に穂積(1985)によって記録されている。三河の各所に産する。

3. *Lema cirsicola* CHUJŌ

ルリクビボソハムシ (図1, I)

12-VI, 1977 (1), 19-VII, 1978 (3), 28-V, 1988 (3), 27-VI, 1988 (1), 13-VIII, 1988 (3).

三河各地に産する普通種である。

4. *Lema honorata* BALY ヤマイモハムシ

16-V, 1978 (1), 8-VII, 1979 (2), 13-VIII, 1988 (2).

前種よりもさらに普通の種である。

Clytrinae ナガツツハムシ亜科

(1種)

5. *Smaragdina aurita* (LINNÉ)

キボソルリハムシ (図1, C)

12-VI, 1977 (1).

本宮山では少ない。

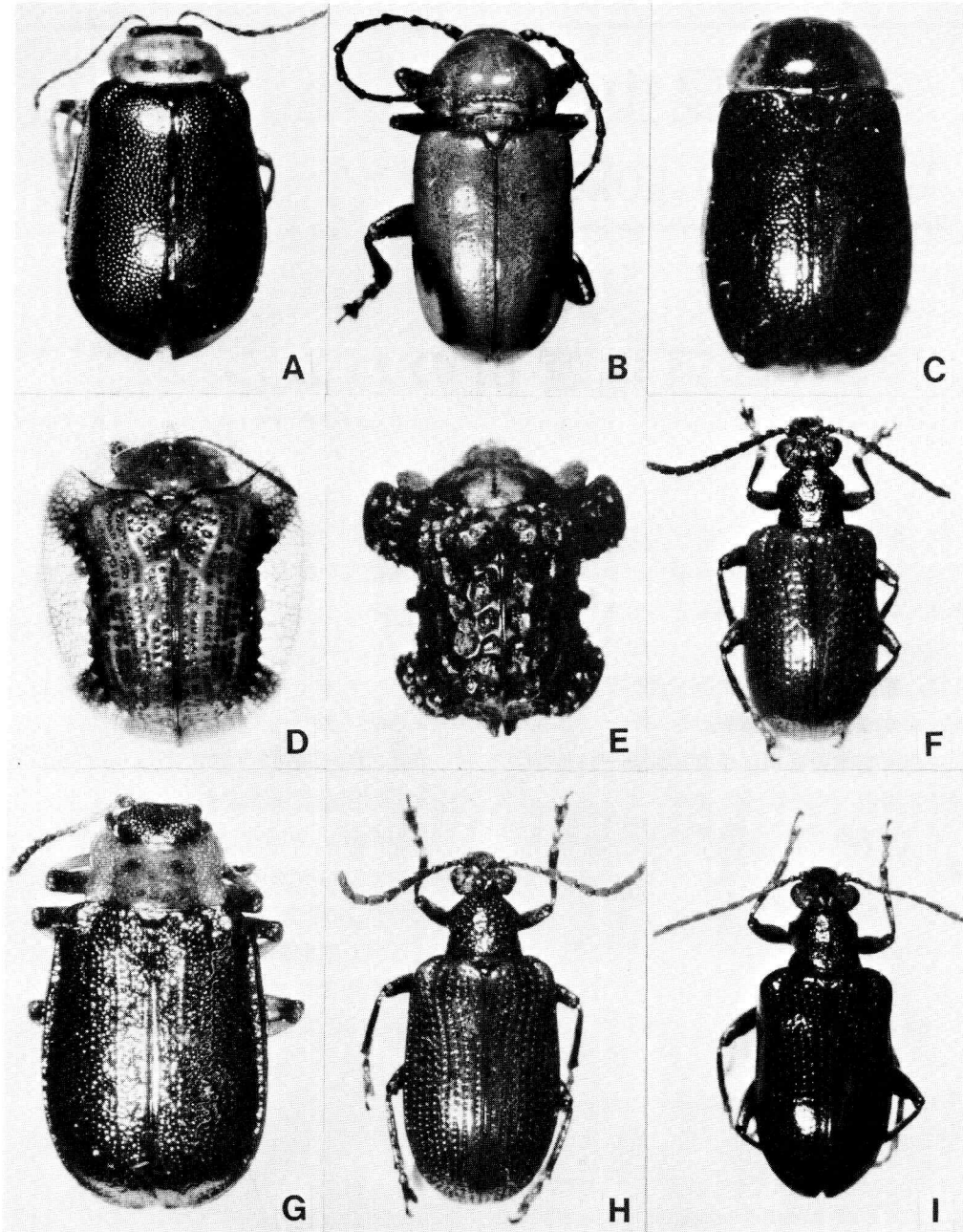


図1 A. キクビアオハムシ B. フタホシオオノミハムシ C. キボシルリハムシ D. ルイスジंगाサハムシ E. コガタカメノコハムシ F. ホソクビナガハムシ G. ミヤマヒラタハムシ H. キイロクビナガハムシ I. ルリクビボソハムシ

Cryptocephalinae ツツハムシ亜科

(3種)

6. *Cryptocephalus fortunatus* BALY

キアシリツツハムシ

27-VI, 1988 (4)。

本種は既に神谷 (1955) によって記録されている。ほぼ三河山地の全域に分布する。

7. *Cryptocephalus signaticeps* BALY

クロボシツツハムシ

27-VI, 1988 (1)。

本種は既に神谷 (1955) によって記録されている。各所でごく普通の種である。

8. *Cryptocephalus confusus* SUFFRIAN

チビルリツツハムシ

27-VI, 1988 (3)。

小形種のため県下での記録は茶臼山、面ノ木峠と船着山の2例があるのみ。コナラから採集される。

Chalamisnae コブハムシ亜科

(1種)

9. *Chalamisus spilotus* BALY

ムシクソハムシ

文献による神谷 (1955) の記録がある。

Lamprosomatinae ツヤハムシ亜科

(1種)

10. *Comorphoides cupreatus* (BALY)

ドウガネツヤハムシ

24-IV, 1977 (1), 12-VI, 1977 (1), 19-VI, 1977 (1), 28-V, 1988 (2)。

本種は既に神谷 (1955) によって記録されている。三河各地タラノキにごく普通の種である。

Eumolpinae サルハムシ亜科

(5種)

11. *Basilepta fulvipes* (MOTSCHULSKY)

アオバネサルハムシ

13-VIII, 1988 (3)。

三河各所のヨモギに多い。

12. *Basilepta hirticollis* (BALY)

ムナゲクロサルハムシ

文献による神谷 (1955) の記録がある。

13. *Demotina fasciculata* BALY

マダラアラゲサルハムシ

普通種である。文献による神谷 (1955) の記録がある。

14. *Demotina modesta* BALY

カサハラハムシ

文献による神谷 (1955) の記録がある。

15. *Acrothinium gaschkevitchii* (MOTSCHULSKY)

アカガネサルハムシ

27-VI, 1988 (1)。

三河地方では南部ほど個体数が多い。

Chrysomelinae ハムシ亜科

(7種)

16. *Plagioderma versicolora* (LAICHARTING)

ヤナギリハムシ

16-V, 1978 (1)。

本種は既に神谷 (1955) によって記録されている。ヤナギに普通。

17. *Chrysolina aurichalcea* (MANNERHEIM)

ヨモギハムシ

12-VI, 1977 (1)。

平地のヨモギに普通。

18. *Linnaeidea aenea* (LINNÉ)

ルリハムシ (図2, J)

28-V, 1988 (8), 27-VI, 1988 (2), 13-VIII, 1988 (1)。

本種は既に神谷 (1955) および穂積 (1985) によって記録されている。三河地方の分布としては本宮山より北の山地では各所に普通に産するが、これより南の低地帯では岡崎市池金に産する他は未確認である。

19. *Gastrolina peltoidea* (GEBLER)

ミヤマヒラタハムシ (図1, G)

16-V, 1978 (1), 1-VI, 1978(12), 28-V, 1988 (4), 27-VI, 1988 (5)。

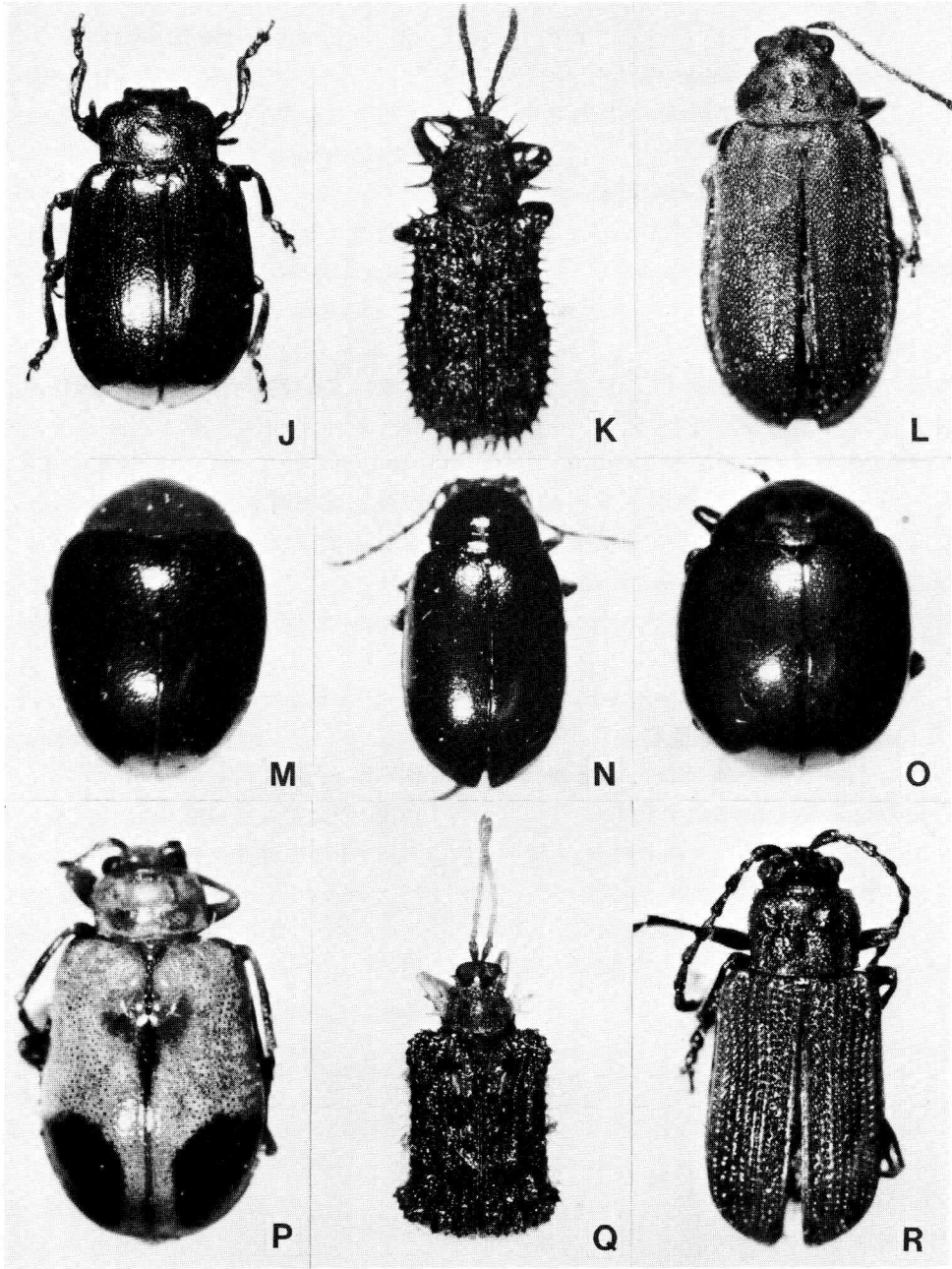


図2 J. ルリハムシ K. クロトゲハムシ L. ニレハムシ M. ムネアカタマノミハムシ
N. ニホンカミナリハムシ O. オオキイロマルノミハムシ P. アトボシハムシ Q.
キベリトゲハムシ R. カタクリハムシ

本種既に神谷(1955)および山崎(1978)によって記録されている。中腹以上に多産する。三河地方から他では設楽町栗島川と幸田町で採集されているのみである。

20. *Gastrolinoides japonica* (HAROLD)

ズグロキハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。

21. *Gonioctena rubripennis* BALY

フジハムシ

16-V, 2978 (7), 28-V, 1988 (5), 27-VI, 1988 (1)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。本宮山ではf. *plagipennis* (黒条型)よりも原型の方がやや多いようである。

22. *Gonioctena nigoplagiata* BALY

ヤツボシハムシ

本種は既に山崎(1978)によって記録されている。エノキから採集されるが、今のところ県下では名古屋市千種区東山(中根 1956)と新城市船着山(山崎 1986), (穂積 1986)の3ヶ所だけである。

Galerucinae ヒゲナガハムシ亜科

(18種)

23. *Pyrrhalta fuscipennis* (JACOBY)

イタヤハムシ

13-VIII, 1988 (1)。

県下では奥三河の産地で記録されているが、まだ4例ほどで少ない種である。

24. *Pyrrhalta semifulva* (JACOBY)

アカタデハムシ

24-IV, 1977 (1), 1-VI, 1978 (1), 28-V, 1988 (1), 27-VI, 1988 (1), 13-VIII, 1988 (1)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。普通の種である。

25. *Pyrrhalta maculicollis* (MOTSCHULSKY)

ニレハムシ (図2, L)

1-VI, 1978 (1)。

県下での記録も多くない。

26. *Aulacophora nigripennis* MOTSCHULSKY

クロウリハムシ

15-VII, 1978 (1)。

各地で普通の種である。

27. *Paridea angulicollis* (MOTSCHULSKY)

アトボシハムシ (図2, P)

12-VI, 1977 (1), 1-VI, 1978 (1)。

三河では平地に普通の種である。

28. *Taumacera tibialis* (JACOBY)

クロバヒゲナガハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。三河地方全般に分布している種である。

29. *Fleutiauxia armata* (BALY) クワハムシ

28-V, 1988 (3)。

普通の種である。

30. *Agelastica coerulea* BALY

ハンノキハムシ

24-IV, 1977 (1)。

普通の種である。

31. *Stenoluperus nipponensis* LABOISSIÈRE

ヒゲナガウスバハムシ

12-VI, 1977 (2)。

山地に普通の種である。

32. *Calomicrus nobyi* CHŪJŌ

オオルリヒメハムシ

1-VI, 1978 (1)。

県下では豊根村茶白山での記録があるのみである。

33. *Calomicrus cyaneus* (JACOBY)

ハラグロヒメハムシ

12-VI, 1977 (1)。

三河山地の各所で採集されている。

34. *Exosoma flavipentra* (MOTSCHULSKY)

キバラヒメハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。

35. *Monolepta pallidula* (BALY)

キイロクワハムシ

13-VIII, 1988 (1)。

夏季から秋にかけて採集される。

36. *Monolepta dichroum* (HAROLD)

ホタルハムシ

15-VII, 1978 (8)。

普通の種である。

37. *Authrotus niger* MOTSCHULSKY

ムナグロツヤハムシ

6-IV, 1975 (1), 24-IV, 1977 (1), 12-VI, 1977 (3), 16-V, 1978 (2), 19-VII, 1978 (1), 28-V, 1988 (10), 27-VI, 1988 (4)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。ごく普通の種である。

38. *Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY

キクピアオハムシ(図1, A)

12-VI, 1977 (1), 1-VI, 1978 (8), 28-V, 1988 (2), 27-VI, 1988 (1), 13-VIII, 1988 (1)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。奥三河では普通に採集される。

39. *Gallerucida bifasciata* MOTSCHULSKY

イタドリハムシ

24-IV, 1977 (1)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。山地にやや普通である。

40. *Gallerucida flavipennis* (SOLSKY)

ズグロアカハムシ

27-VI, 1988 (1)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。県下では設楽町裏谷と豊根村茶白山で記録されているにすぎない。

Alticinae ノミハムシ亜科

(19種)

41. *Altica nipponica* OHNO

ニホンカミナリハムシ

15-VII, 1978 (1), 28-V, 1988 (1)。

本種は県下ではまだ他からの採集報告がない。

42. *Aphthonaltica angustata* (BALY)

ホソリトビハムシ

文献による神谷・大平(1954)および神谷(1955)の記録がある。

43. *Pseudodera xanthosphila* BALY

フタホシオオノミハムシ(図1, B)

1-V, 1975 (3), 28-V, 1988 (4), 27-VI, 1988 (2)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。三河低山地帯にも分布する。

44. *Sangariora punctatostrata* (MOTSCHULSKY)

カタクリハムシ(図2, R)

12-VI, 1977 (1), 28-V, 1988 (8)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。本宮山に多い種である。

45. *Aphthonomorpha collaris* (BALY)

フタイロセマルトビハムシ

3-V, 1953 (1)岩月。

県下での記録としては設楽町田口があるのみできわめて少ない。

46. *Aphthona perminuta* BALY

ツブノミハムシ

文献による神谷(1955)および穂積(1985)の記録がある。各所に普通の種である。

47. *Luperomorpha funesta* (BALY)

クワノミハムシ

文献による穂積(1985)の記録がある。

48. *Phyllotreta striolata* (FABRICIUS)

キスジノミハムシ

15-VI, 1969 (1)。

小形種のため県下での記録は多くない。

49. *Longitarsus scutellaris* (REY)

オオバコトビハムシ

15-VII, 1978 (2)。

食草のオオバコ上に多くみられた。

50. *Hemipyxis plagioderoides* (MOTSCHULSKY)

ヒゲナガリマルノミハムシ

12-VI, 1977 (4), 1-VI, 1978 (2), 15-VII, 1978 (1), 28-V, 1988 (1)。

ごく普通の種である。

51. *Hemipyxis flavipennis* (BALY)

キバネマルノミハムシ

1-VI, 1978 (1)。

普通の種である。

52. *Argopus clarki* JACOBY

クラークマルノミハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。

53. *Argopus balyi* HAROLD

オオキイロマルノミハムシ (図2, O)

15-VI, 1969(3), 19-VII, 1978(3)。

県下では三河地方のみで記録されている。

54. *Sphaeroderma ngricolle* JACOBY

アカバネタマノミハムシ

13-VIII, 1988(1)。

県下では三河地方で1例の記録があるが、本種は奥三河広く分布しているものと思われる。

55. *Sphaeroderma fascicorne* BALY

キイロタマノミハムシ

1-VI, 1978(3)。

三河地方に広く分布している。

56. *Sphaeroderma placidum* HAROLD

ムネアカタマノミハムシ (図2, M)

25-VII, 1978(1), 8-VII, 1979(1)。

三河山地で記録されているが、小形種のため見逃がされることが多い。

57. *Psylliodes* sp.

ナガスネトビハムシの一種

28-V, 1988(3)。

この仲間の種名は確定していない。

58. *Nonarthra cyaneum* BALY

ルリマルノミハムシ

28-V, 1988(1)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。ごく普通の種である。

59. *Nonarthra tibiale* JACOBY

コマルノミハムシ

28-V, 1988(1), 13-VIII, 1988(5)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。前種よりも少なく山地性である。

Hispininae トゲハムシ亜科

(4種)

60. *Hispellinus moerens* (BALY)

クロトゲハムシ (図2, K)

8-VII, 1979(4)。

山地・平地問わず産する。食草はカヤ類である。三河地方より尾張地方からの記録の方が多い。

61. *Dactylispa subquadrata* (BALY)

カタビロトゲハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。

62. *Dactylispa angulosa* (SOLSKY)

ヒメキベリトゲハムシ

文献による神谷(1955)の記録がある。

63. *Dactylispa masonii* GESTRO

キベリトゲハムシ (図2, Q)

12-VI, 1977(1), 1-VI, 1978(3)。

中腹のフキに普通である。

Cassidinae カメノコハムシ亜科

(5種)

64. *Cassida piperata* HOPE

ヒメカメノコハムシ

12-VI, 1977。

平地の普通種でイノコズチに多い。

65. *Cassida varicolor* (BOHEMAN)

セモンジンガサハムシ

12-VI, 1977(2)。

本種は既に神谷(1955)によって記録されている。三河の各所で記録されている。

66. *Cassida vespertina* (BOHEMAN)

コガタカメノコハムシ (図1, E)

16-V, 1978(1)。

山地に産するが、個体数ともにやや少ない種である。

67. *Thlaspidia lewisii* (BALY)

ルイスジンガサハムシ (図1, D)

28-V, 1988(1)。

本種は既に岩月(1953)および神谷(1955)によって記録されている。奥三河各地で記録されているが、個体数は多くない。

68. *Thlaspidia cribrosa* (BOHEMAN)

イチモンジカメノコハムシ

28-V, 1988(3), 27-VI, 1988(1), 13-VIII, 1988

(1)。

本種は既に神谷(1955)および穂積(1985)によって記録されている。各地のムラサキシキブにみられる普通の種である。

考 察

以上本宮山から11亜科68種を記録する。本宮山の山容からすればもう少し多くの種を見出せるものと期待していたが、意外と少なかった。その理由のひとつは、調査がくらがり登山道から山頂までの額田町に限って行ったことではないかと考えられる。本宮山一帯を調査すれば、平地産のもの等が加わり相当数が増加するものと思う。

今回の内訳は文献上の既知種34種、採集による確認種54種、追加種34種である。

本宮山のハムシ科についてしてみると、亜科別で未確認なのがナガハムシ亜科、モモプトハムシ亜科、カタビロハムシ亜科、ネクイハムシ亜科、ホソハムシ亜科であった。奥三河地方ではナガハムシ亜科以外はすべて記録されているので、本宮山でも分布していると思われるが、今のところ採集されていない。またナガツツハムシ亜科、ツツハムシ亜科、サルハムシ亜科については、他と比較して種類数が少ないが目立っている。これはスギ・ヒノキの植林地で山の大部分が占められ、草原、沼地、照葉樹林はわずかにある程度でハムシ科甲虫にとっての生息環境としてはあまり良好とはいえないようで

ある。しかし広範囲に調査をすれば、南部の山麓等の自然林や北部の湿原などが含まれるためさらに多くの追加種があるものと思われる。

いずれにしても本宮山のハムシ科については調査がまだ不十分であり、今後も調査を行い究明することによって、本宮山の地理的な位置における昆虫相がクローズアップされてくると思う。

終りに、日頃ご指導を頂いている大平仁夫博士および大野正男先生、そして調査で種々お世話になった浅田孝知、照井正康の両氏に心から御礼申し上げる。

文 献

- 1 岩月学(1953)ルイスカメノコハムシの新産地, 新昆虫6(1):51。
- 2 神谷一男(1955)北設山岳及鳳来寺山県立公園一帯の自然科学 奥三河の昆虫相:33-70。
- 3 山崎隆弘(1978)三河地方で採集した珍しい昆虫(2), 三河の昆虫21:81-83。
- 4 山崎隆弘(1978)エノキクロホシハムシ本宮山で採集, 採集ニュース1:1。
- 5 原田ほか(1982)作手村の動物, 作手村誌:53-82。
- 6 穂積俊文(1985)1985年初夏, 三河本宮山の甲虫, 三河の昆虫32:182-184。
- 7 山崎隆弘(1986)船着山のハムシ相, 三河の昆虫33:190-199。

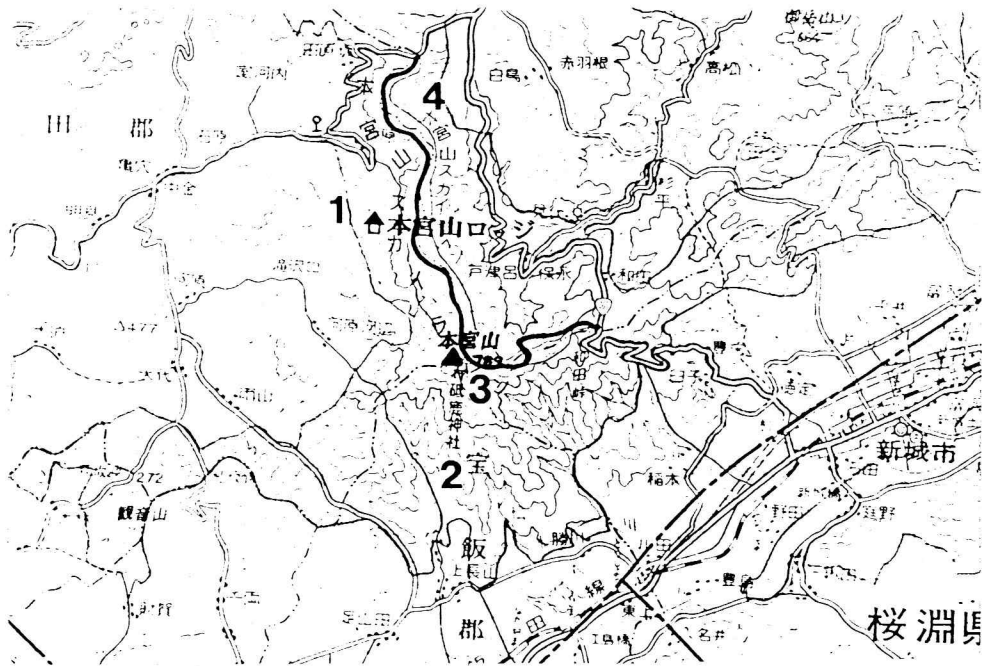
本宮山のカメムシ類

浅岡孝知

三河本宮山については、過去に多くの資料や発表文献が見られる。特に、額田町側・閻苅溪谷方面よりのコースはよく知られた採集地であって、その報文も多い。今回、筆者は下図のように、①額田町コース(閻苅溪谷添い)、②一

宮町コース、③山頂、夜間採集、④作手村コースについての調査をまとめてみた。

尚、記録については、代表的な例を示し、末尾に採集場所(コース)の数字を記した。



三河本宮山とその周辺地域

調査地の概要

① 閻苅溪谷コース

路線バス停より、登山口が始まり、溪谷添いに歩を進める。かつては材木を牛馬により運び出され、昆虫も豊富であった。しかし、今では、林道も広く、樹木も大きく成長し、山頂付近のほうがむしろよいと言える。

② 一宮町コース

上長山方面よりの登山口より、山頂をめざし

て登る。山道は狭く、樹高もあり、暗い所が多く、昆虫相は貧弱である。

③ 山頂付近

一宮町側に砥鹿神社があり、鳥居付近で燈火による夜間採集をする。セアカツノカメムシ、ヒグラシ等が多く飛来した。

④ 作手村コース

作手村側スカイライン自動車道路付近より、鬼久保を中心に低山地が広がる。牧場、伐採地等もあり、早春に訪れるとよいと思われる。

種の目録

マルカメムシ科

1. マルカメムシ *Coptosoma punctissimum* Montandos 8-VII '79 5 ex ①。

カメムシ科

1. シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis* (Westwood) 24-VII '87, 1 ex ③。
 2. マルシラホシカメムシ *Eysarcoris guttiger* (Thunberg) 8-VII '79, 2 ex ①。23-IX '81, 1 ex ①。6-X '86, 2 ex ②。普通種。
 3. トゲカメムシ *Carbula humerigera* Uhler 23-IX '81, 5 ex ①。8-VII '79, 3 ex ①。普通種。
 4. クサギカメムシ *Halyomorpha brevis* Walker 24-VII '87, 1 ex ③。
 5. エゾアオカメムシ *Palomena angulosa* Motschulsky 4-V '81, 1 ex ①。山地性で頂上で得る。
 6. アオクサカメムシ *Nezara antennata* Scott 24-VII '87, 4 ex ③。
 7. チャパネアオカメムシ *Plautia crossata* Dallas 8-VII '79, 5 ex ①。28-V '86, 2 ex ②。24-VII '87 ③。普通種。
 8. ツマジロカメムシ *Menida violacea* Motschulsky 8-VII '79, 15 ex ①。6-VI '81, 2 ex ①。28-V '88, 3 ex ④。普通種。
 9. タマカメムシ *Sepontia anenea* Distant 17-V '86, 1 ex ②。見つけにくい種。
 10. イチモンジカメムシ *Piezodorus hybveri* (Gmelin) 24-VII '87, 1 ex ③。燈下によくくる種。

ツノカメムシ科

1. セアカツノカメムシ *Acanthosoma denticauda* Jakovlev 24-VII '87, 12 ex ③。18-IX '88, 2 ex ④。三河本宮山周辺に特に多産する。

2. エゾツノカメムシ *Acanthosoma expansum* Horváth 4-V '81, 1 ex ①。少ない。
 3. モンキツノカメムシ *Sastragala scutellata* Scott 30-V '81, 1 ex 村田①。
 4. エサキモンキツノカメムシ *Sastragala esakii* Hasegawa 6-VI '81, 1 ex ①。24-VII '87, 7 ex ③。多産する。
 5. ベニモンカメムシ *Elasmostethus humeralis* Jakovlev 23-IX '81, 1 ex ①。24-VII '87 7ex ③。多産する。
 6. ヒメツノカメムシ *Elasmucha putoni* Scott 28-VII '79, 1 ex ①。6-VI '81, 3 ex ①。28-VI '88, 1 ex ②。比較的多い。
 7. アオモンツノカメムシ *Dichobothrium nubilum* Dallas 24-VII '87, 2 ex ③。

クヌギカメムシ科

1. ナシカメムシ *Urochela luteovaria* Distant 8-VII '79, 2 ex ①。

エビイロカメムシ科

1. エビイロカメムシ *Gonopsis affinis* Uhler 8-VII '79, 1 ex ①。

ヘリカメムシ科

1. ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* Thunberg 8-VII '79, 2 ex ①。6-VI '81, 1 ex ①。23-IX '81, 1 ex ①。多産する。
 2. ハラビロヘリカメムシ *Homeocerus dilatatus* Horváth 28-V '88, 1 ex ④。
 3. オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris striicornis* Scott 24-VII '87, 1 ex ③。
 4. ツマキヘリカメムシ *Hygia opaca* Uhler 8-VII '79, 2 ex ①。6-VI '81, 4ex ①。多産する。
 5. オオツマキヘリカメムシ *Colpura lativentris* Motschulsky 8-VII '79, 2 ex ①。28-V '88, 1 ex ④。
 6. キバラヘリカメムシ *Plinactus bicolor-*

ipes Scott 28-V '88, 1 ex ④。

7. ヒメクモヘリカメムシ *Paraplesius unicolor* Scott 28-V '88, 1 ex ④。

8. ホソヘリカメムシ *Cletus trigonus* Thunberg 24-VII '87, 1 ex ③。

9. ブチヒゲヘリカメムシ *Stictopleurus crassicornis* Linne 8-VII '79, 3 ex ①。

ナガカメムシ科

1. セスジナガカメムシ *Arocatus melanotomus* Scott 23-V '88, 1 ex ②。

2. アカヘリナガカメムシ *Arocatus sericans* Stal 6-VI '81, 1 ex ①。

3. ムラサキナガカメムシ *Pylorgus colon* Thunberg 8-VII '79, 1 ex ①。4-V '81, 5 ex ①。23-IX '81, 3 ex ①。多産する。

4. オオメナガカメムシ *Geocoris varius* Uhler 8-VII '79, 3 ex ①。6-VI '81, 1 ex ①。多い。

5. ヒメナガカメムシ *Nysius plebejus* Distant 8-VII '79, 2 ex ①。

6. ヒョウタンナガカメムシ *Eucosmetus albomarginatus* Scott. 6-VI '81, 3 ex ①。23-IX '81, 3 ex ①。

7. キベリヒョウタンナガカメムシ *Pachybrachius lateralis* Scott 24-VII '87, 5 ex ③。

8. フタモンチャイロナガカメムシ *Lethaeus dallasi* Scott 24-VII '87, 3 ex ③。多産する。

オオホシカメムシ科

1. ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis* Stal 24-VII '87, 5 ex ③。多い。

ヒラタカメムシ科

1. マツヒラタカメムシ *Aradus unicolor* Kiritschenko 28-V '88, 1 ex ④。

2. ノコギリヒラタカメムシ *Aradus orientalis* Bergroth 28-V '88, 1 ex ①。

ゲンバイムシ科

1. トサカゲンバイ *Stephanitis takeyai* Drake et Maa 28-V '88, 2 ex ④。

サシガメ科

1. アカヘリサシガメ *Rhynocoris ornatus* Uher 28-V '88, 1 ex ①。

2. シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis* Stal 8-VII '79, 1 ex ①。多い。

マキバサシガメ科

1. コバネマキバサシガメ *Nabis apicalis* Matsumura 28-V '88, 1 ex ④。

2. ハネナガマキバサシガメ *Nabis stenoserus* Hsiao 24-VII '87, 2 ex ③。

3. アカマキバサシガメ *Gorpis brevilineatus* Scott 23-IX '81, 1 ex ①。

ハナカメムシ科

1. ヤサハナカメムシ *Amphiareus obscuriceps* Poppius 24-VII '87, 6 ex ③。

メクラカメムシ科

1. アカアシメクラガメ *Onomaus lautus* Uhler 24-VII '81, 3 ex ①。

2. ブチヒゲクロメクラガメ *Adelphocoris triannulatus* Stal 8-VII '79, 1 ex ①。

3. メンガタメクラガメ *Eurystylus coelestialium* Kirkaldy 24-VII '87, 1 ex ③。

アメンボ科

1. シマアメンボ *Metrocoris histrio* B. White 28-VII '80, 1 ex ①。

セミ科

1. クマゼミ *Cryptotympana japonensis* kato 24-VII '87, 1 ♂③。

2. アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata* Motschulsky 24-VII '87, 1 ♂③。

3. ヒグラシ *Tanna japonensis* Distant 24-VII '87, 3♂③。

ツノゼミ科

1. オビマルツノゼミ *Gargara fasciata* kato 8-VII '79, 1 ex ①。

アワフキムシ科

1. モンキアワフキ *Yezophora flavomaculata* Matsumura 24-VII '87, 10 ex ③。18-IX '88, 1 ex ④。多産する。
2. ヒメシロオビアワフキ *Trigophora obliqua* Uhler 24-VII '87, 5 ex ③。多産する。
3. シロオビアワフキ *Obiphora intermedia* Uhler 8-VII '79, 2 ex ①。23-IX '81, 1 ex ①。
4. マエキアワフキ *Omaloophora costalis* Matsumura 24-VII '87, 4 ex ③。
5. ミヤマアワフキ *Ainoptielus nigroscutellatus* Matsumura 18-IX '88, ex ④。
6. マダラアワフキ *Awafukia nawai* Matsumura 8-VII '79, 1 ex ①。多くない。
7. テングアワフキ *Philagra albinotata* Uhler 8-VII '79, 3 ex ①。

コガシラアワフキムシ科

1. コガシラアワフキ *Euscartopsis assimilis* Uhler 24-VII '87, 9 ex ③。多産する。

ミミズク科

1. ミミズク *Ledra auditura* Walker 24-VII '87, 3 ex ③。
2. コミミズク *Petaloccephala discolor* Uhler 6-VI '81, 1 ex ①。

ブチミャクヨコバイ科

1. ブチミャクヨコバイ *Drabescus nigrifemoratus* Matsumura 24-VII '87, 9 ex ③。

ヨコバイ科

1. ツマグロヨコバイ *Nephotettix cincticeps* Uhler 24-VII '87, 3♂③。

シダヨコバイ科

1. シダヨコバイ *Japanagallia pteridis* Matsumura 28-V '88, 1 ex ①。

オオヨコバイ科

1. ツマグロオオヨコバイ *Bothrogonia japonica* Ishihara 4-V '81, 1 ex ①。6-VI '81, 1 ex ①。18-IX '88, 2 ex ④。多い。
2. マエジロオオヨコバイ *Kolla atramentaria* Motschulsky 6-VI '81, 1 ex ①。

アオズキンヨコバイ科

1. アオズキンヨコバイ科 *Stragania mundus* Uhler 24-VII '87, 1 ex ③。
2. ホシアオズキンヨコバイ *Stragania stigmatica* Matsumura 24-VII '87, 9 ex ③。多い。

ハゴロモ科

1. ベッコウハゴロモ *Ricania japonica* Melichar 23-IX '81, 1 ex ①。

アオバハゴロモ科

1. アオバハゴロモ *Geisha distinctissima* Walker 23-IX '81, 1 ex ①。多い。

マルウンカ科

1. キボシマルウンカ *Gergithus iguchii* Matsumura 23-IX '88, 1 ex ④。少ない。
2. マルウンカ *Gergithus raviabilis* Bulter 8-VII '79, 3 ex ①。

コガシラウンカ科

1. スジコガシラウンカ *Rhotala vittata* Matsumura 24-VII '87, 1 ex ③。山地性の種。

2. ウチワコガシラウンカ *Catonidia sobrina*
Uhler 18-IX '88, 3 ex ④。山地性の種で多
くない。

以上簡単ながら 29 科 78 種を確認した。未同
定分をかなり残しているので、今後追加発表し
ていきたい。三河本宮山には、エゾアオカメム
シやスジコガシラウンカのような山地性の種が
見られ平地との接点であることを物語っている。

調査が不十分で明確にはできないが、額田町
側 40 種、山頂 30 種等に多くの種が見い出され、
一宮町側よりも豊富に生息していることがわか
かった。今後も更に継続調査をしていき、一層
明らかにしていきたい。

尚、末筆ながら、現地でいろいろとお世話に
なった山崎隆弘氏、資料の提供を受けた村田文
彦氏にお礼を申し上げる。

三河昆虫研究会の総会

1988 年度の総会は、2 月 7 日に生理学研究
所の講義室で開かれました。例年ですと、文
献や標本の交換などでにぎわうのですが、本
年度は準備不足で少し淋しい会でした。

それでも、杉坂さんの力作「ゴマシジミの
謎を探る」の研究苦心談や穂積先生が中心に
なって進められている「愛知県昆虫目録」の

説明などで色々有意義な話題提供がありました。

参加者は阿江 茂、岩崎 博、鋤柄守三、
鈴木友之、久永和彦、金田吉高、原田猪津夫、
山崎隆弘、小鹿 亨、加藤真也、杉坂美典、
竹内克豊、小野寛昭、照井正康、水野 宏、
穂積俊文、大平仁夫(順位不同)などでした。



本宮山のコメツキムシについて

大平 仁 夫

本宮山は豊川市の北方に位置する海拔 789 m の山で、別名を三河本宮山とも呼ばれている。山麓（額田町側）には美しい溪流があり、闇刈渓谷としてよく知られている。また、山頂には砥鹿神社奥宮があり、古くから信仰の対象になっている。

この山の大部分は国有林で、古くはスギやヒノキの美林に混って雑木林も多く、山地性の昆虫類が多く見出されたが、最近では雑木林の大部分が人工林におきかわっており、道路が整備されたりして、昆虫類は昔日のほどではなくなっている。

コメツキムシ類では、ここから 50 種あまり記録されており、新種の基準産地になっている種もある。本稿では、等者が最近採集した種を若干記録しておきたい。()内には調査頭数が記されている。

種の目録

1. *Agrypnus binodulus* (Motschulsky) サビキコリ
25-V, 86(1); 26-V, 87(2); 5-VI, 88(2).
山頂付近に多く見出される。
2. *Nothodes marginicollis* (Lewis) ウスチャカネコメツキ (第1図, C)
26-V, 88(1); 5-VI, 88(1).
山麓周辺のカシ類の枝から見出される。
3. *Gambrinus vittatus* (Candèze) タテジマカネコメツキ (第1図, B)
17-V, 86(2)
個体数は多くないが、山麓周辺の広葉樹で見出される。
4. *Gambrinus rufipennis* (Lewis) ハネアカカネコメツキ (第1図, A)
3-V, 86(3); 5-VI, 88(3).

三河地方では山地で見出されるが、ここでは個体数が多い。この山のコメツキ相の一つの特徴でもある。

5. *Denticollis nipponensis* Ôhira ベニコメツキ
26-V, 87(2).
三河地方での本種の南限である。
6. *Denticollis miniatus* (Candèze) ミヤマベニコメツキ
26-V, 87(1); 5-VI, 88(3).
本種も三河地方ではここが南限となっている。
7. *Selatosomus onerosus* (Lewis) トラフコメツキ
26-V, 87(1).
個体数は少ないがここでは山頂付近で見出される。
8. *Corymbitodes gratus* (Lewis) ドウガネヒラタコメツキ
3-V, 86(1).
本宮山では個体数が少ない。
9. *Actenicerus pruinosus* Motschulsky シモフリコメツキ
20-IV, 86(1).
昔は山頂付近の雑木林で多く見出されたが、最近はあまり採集できない。
10. *Actenicerus modestus* (Lewis) ヘリアカシモフリコメツキ
5-VI, 88(2).
三河地方では所々で記録されている。現在のところではここがこの地方での南限になっている。
11. *Neopristilophus serrifer* (Candèze) アカヒゲヒラタコメツキ
5-VI, 88(2).

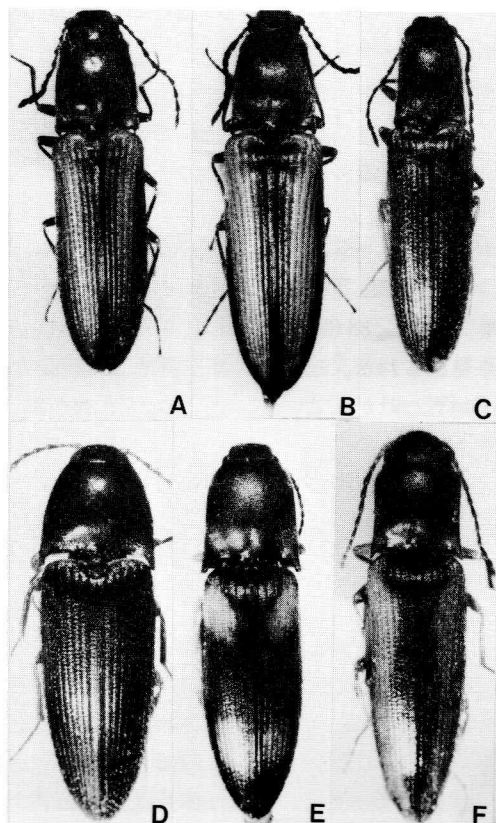


図1 A. ハネアカカメコメツキ(体長8mm) B. タテジマカネコメツキ(体長9mm) C. ウスチャカネコメツキ(体長8mm) D. アラハダチャイロコメツキ(体長9mm) E. ヨツキボシコメツキ(体長6mm) F. ホソナカグロヒメコメツキ(体長5.5mm)

三河地方では各地で見出されている。山麓の雑木林で採集できる。

12. *Melanotus cete* Candèze アカアシオオクシコメツキ

5-VI, 88(2)。

普通種である。山頂付近に多い。

13. *Melanotus correctus* Candèze ヒラタクシコメツキ

26-V, 87(2); 5-VI, 88

山林性の種である、ここでは普通である。

24. *Melanotus erythropygus* Candèze コガタクシコメツキ

26-V, 87(3)堤5-VI, 88(6)。

普通種である。山麓あたりに多い。

15. *Ampedus carbunculus* (Lewis) ヒメクロコメツキ

5-VI, 88(1)。

やや山地性の種である。ここでは個体数は多くない。

16. *Ectamenogonus rugipennis* (Lewis) アラハダチャイロコメツキ (第1図, D)

5-VI, 88(1)。

三河地方では段戸裏谷からのみ知られていた種である。個体数は少ない。

17. *Ampedus hypogastricus* (Candèze) アカハラクロコメツキ

24-VI, 86(1); 26-V, 87(1); 5-VI, 88(4)。

この属の種では最もよく知られている普通種

である。

18. *Ectinoides insignitus* (Lewis) ヨツキボシ
コメツキ (第1図, E)

5-VI, 88(2)。

山麓の雑木林で見出される。上翅の黄斑の発達したものが多い。

19. *Dalopius tamui* Kishii ホソナカグロヒメ
コメツキ (第1図, F)

14-VI, 86(1); 20-IV, 86(3); 5-VI, 88(6)。

山麓のカシ類の雑木林で多く見出される。三河地方では広く分布することが判明したが、ここがこの地方での分布の南限である。

20. *Ectinus sericeus* (Candèze) カバイロコメ
ツキ

5-VI, 88(10)。

三河地方では広く分布しているが、この地方での分布の南限になっている。山頂近くで多く見出される。

21. *Cardiophorus niponicus* (Lewis) ホソハ
ナコメツキ

5-VI, 88(1)。

三河地方では少ない種である。

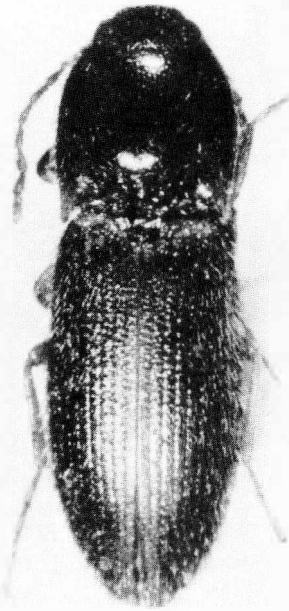
ホングウチビクロコメツキについて

大平仁夫

愛知県では設楽町裏谷と東加茂郡足助町から記録され、県外では紀伊半島(奈良県, 三重県)と四国(高知県)から知られている。

体長は5 mm内外で両側は平行状。光沢を有し全体栗色で、触角と肢は黄褐色である。また、体表面はやや長い褐色毛を生ずる。本宮山では、闇苧溪谷の営林署の宿舎のあるあたりで打網で採集したように記憶している。本宮山が新種の完模式標本の産地になっているのは、コメツキムシ類では本種だけである。

ここに図示したのは、伴氏が設楽町裏谷で1975年6月1日に採集された個体(多分雄)である。



ホングウチビクロコメツキ

Ampedus honguanus Ôhira, 1962 ホングウチビクロコメツキは、1954年5月16日に本宮山で筆者が採集した1雄個体を完模式標本に指定して新種として記載した種である。その後、

愛知県末記録のシモフリコメツキ

大平 仁 夫

シモフリコメツキ類 (*Actenicerus* 属の仲間) は愛知県から6種記録されているが、この中には記録の誤りと思われるものが含まれているので、実際に何種いるのかはこれから詳しく調べることが必要である。

筆者は最近、シモフリコメツキ属の一部の種について調べる機会があったが、今までに愛知県から知られていない種が三河山岳地帯に広く分布していることが判明したので、ここに記録しておきたいと思う。

Actenicerus yamashitai Ôhira, 1968

ホソシモフリコメツキ (図1)

本種は、筆者が1968年に青森県十和田で下山健作氏が採集された1雄を完模式標本に指定して新種の記載をしたもので、現在では中部地方から北陸・東北地方にかけて広く分布すること

が判明しており、分布の南限は兵庫県になっている。

体長は13~15mm。体は細長くて両側は平行状。黒色で真鍮色の金属光沢を有し、体表面には淡黄色の毛を生じ、上翅は淡黄灰色と暗褐色毛とで不規則なまだら状の斑紋を生じている。触角と肢は黒褐色であるが、脛節とふ節の一部はときに赤褐色を呈する。触角は細長く、雄では前胸背板の後角より末端1節ほど後方に伸長する。第2節は短小で球形状、第3節は三角形で第4節よりやや短い。前胸背板は矩形状で幅より長い。背板上は粗雑な点刻を密に生じ、点刻と点刻間は点刻の直径よりせまい。また、正中部は浅い縦凹溝を有する。

雌は雄に類似するが、一般により大形で体も幅広く、触角は短く、前胸背板の後角より短い。本種は愛知県の三河山間部に広く分布しているが、調査した標本の代表的な産地を以下に記しておく。

三河本宮山, 26-V, 1978 山崎隆弘採集。

船着山, 16-IV, 1978 山崎隆弘採集。

段戸裏谷, 23-V, 1981 原田猪津夫採集。

茶白山, 29-V, 1977 松野更一採集。

これによれば、成虫の発生期は低地では4月中旬頃、山岳地では5月中旬頃からである。一般外形は *A. pruinosis* Motschulsky ヒメシモフリコメツキによく似ており、今までこれと混同されていたのではないと思われる。この種は触角が短く、前胸背板の側縁が外方へ湾曲し、背板の点刻が小形でよりまばらであることによりホソシモフリコメツキと識別できる。

なお、ここに示した図は、三河本宮山で1976年6月6日に松野更一氏が採集した体長14mmの雄個体である。

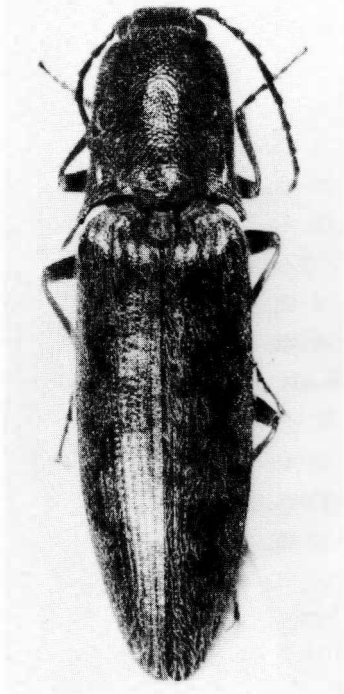


図1 ホソシモフリコメツキ (雄)

本宮山およびその周辺のテントウムシ

照井正康

当データは、1978~1988年の間で採集した未発表の種である。尚、採集地名は次のように省略した。

本宮山=本宮山登山道。

閼 苅=閼苅溪谷。

上長山=宝飯郡一宮町上長山。

雨 山=額田郡額田町雨山。

大 代=額田郡額田町大代。

千万町=額田郡額田町千万町。

高 里=南設楽郡作手村高里。



この報文をまとめるに当り、御指導、データ協力下さった、大平仁夫博士、山崎隆弘の諸氏に対し心から御礼申し上げる。

1) *Pseudoscymnus pilicrepus* (LEWIS)

クビアカヒメテントウ

雨 山, 21-VIII, 88(1)山崎。

2) *Hyperaspis japonica* (CROTCH)

フタホシテントウ

本宮山, 13-VIII, 88(2)照井。

閼 苅, 29-VI, 79(4)照井。

雨 山, 30-IV, 88(1)山崎。

〃 21-VIII, 88(2)山崎。

大 代, 1-VIII, 88(1)山崎。

3) *Cryptogonus orbiculus* (GYLLENHAL)

フタモンクロテントウ

閼 苅, 22-VII, 88(1)照井。

雨 山, 21-VIII, 88(1)山崎。

大 代, 19-VI, 88(4)山崎。

〃 1-VIII, 88(1)山崎。

4) *Phymatosternus lewisii* (CROTCH)

ヨツボシテントウ

雨 山, 17-VII, 88(1)山崎。

〃 21-VIII, 88(1)山崎。

5) *Chilocorus kuwanae* SILVESTRI

ヒメアカホシテントウ

本宮山, 13-VIII, 88(1)照井。

雨 山, 17-VII, 88(3)山崎。

〃 21-VIII, 88(3)山崎。

大 代, 19-VI, 88(1)山崎。

〃 7-VII, 88(1)照井。

〃 27-VII, 88(1)山崎。

〃 1-VIII, 88(1)山崎。

〃 21-VII, 88(1)山崎。

6) *Rodolia limbata* (MOTSHOLSKY)

ベニヘリテントウ

雨 山, 4-VII, 86(1)照井。

大 代, 1-VIII, 88(1)山崎。

7) *Coccinella septempunctata* LINNÉ

ナナホシテントウ

本宮山, 28-V, 88(1)山崎。

〃 13-VIII, 88(2)照井。

閼 苅, 22-VII, 79(2)照井。

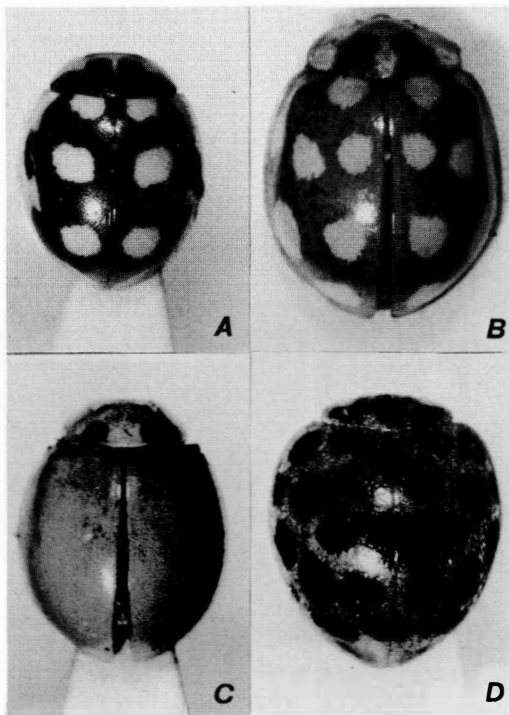
雨 山, 19-VI, 88(1)山崎。

〃 2-X, 88(1)山崎。

大 代, 19-VI, 88(1)照井。(3)山崎。

〃 27-VII, 88(2)山崎。

- " 1-VIII, 88(1)山崎。
 " 2-X, 88(1)山崎。
 8) *Oemopia hirayamai* (YUASA)
 ウスキホシテントウ (図 A)
 本宮山, 13-VIII, 88(1)山崎。
 大代, 19-VI, 88(1)山崎。
 " 17-VII, 88(1)山崎。
 高里, 10-V, 87(1)照井。
 9) *Oenopia scalaris* (TIMBERLAKE)
 ムツキホシテントウ
 雨山, 30-IV, 88(2)山崎。
 10) *Propylea japonica* (THUNBERG)
 ヒメカメノコテントウ
 本宮山, 7-VIII, 88(2)照井。
 雨山, 4-VII, 88(1)照井。
 " 21-VII, 88(1)山崎。
 " 2-X, 88(1)照井。(2)山崎。
 大代, 19-VI, 88(2)山崎。
 " 17-VII, 88(1)照井。
 " 7-VIII, 88(1)照井。
 11) *Calvia quaturdecimguttata* (LINNÉ)
 シロジュウシホシテントウ (図 B)
 上長山, 3-V, 80(3)照井。
 12) *Harmonia axyridis* (PALLAS)
 ナミテントウ
 本宮山, 13-VIII, 88(3)照井。
 蘭苕, 22-VII, 79(1)照井。
 雨山, 4-VII, 86(1)照井。
 " 19-VI, 88(1)照井。(3)山崎。
 " 17-VII, 88(1)山崎。
 " 21-VIII, 88(1)山崎。
 大代, 17-VII, 88(2)照井。
 " 7-VIII, 88(5)照井。
 13) *Aiolocaria hexaspilota* (HOPE)
 カメノコテントウ
 本宮山, 28-V, 88(1)山崎。



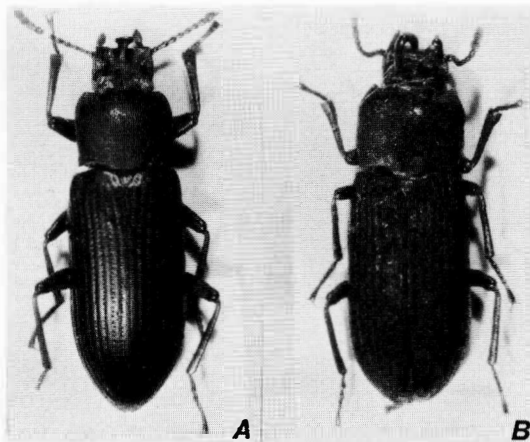
A. ウスキホシテントウ B. シロジュウシホシテントウ
 C. キイロテントウ D. ヤマトアザミテントウ

- 〃 27-VI, 88 (1)山崎。 シロホシテントウ
 千万町, 6-V, 79 (1)照井。 本宮山, 13-VIII, 88 (10)照井。(9)山崎。
 14) *Illeis roebelei* TIMBLAKE 闇 刃, 22-VII, 79 (13)照井。
 キイロテントウ (図, C) 16) *Epilachna niponica* LEWIS
 本宮山, 27-VI, 88 (1)山崎。 ヤマトアザミテントウ (図, D)
 闇 刃, 29-VI, 79 (1)山崎。 闇 刃, 29-VI, 79 (1)照井。
 〃 22-VII, 79 (4)山崎。
 25) *Vibidia duodecimguttata* (PODA)

本宮山およびその周辺のゴミムシダマシ

照井正康

- 1) *Gonocephalum coriaceum* MOTSCHULSKY 17-IV, 88 (2)照井。
 コスナゴミムシダマシ 上長山, 17-IV, 88 (9)照井。
 大代, 2-X, 88 (1)照井。
 2) *Basanus erotyloides* LEWIS 5) *Toxicum tricornutum* WATERHOUSE
 ヨツボシゴミムシダマシ ミツノゴミムシダマシ (図, A)
 闇 刃, 25-III, 79 (5)照井。 15-VII, 78 (1)山崎。
 3) *Uloma bonzica* MARSEUL 6) *Cryphaeus duellicus* (LEWIS)
 ヨツコブゴミムシダマシ ヒメツノゴミムシダマシ (図, B)
 17-IV, 88 (1)照井。 雨 山, 7-VIII, 88 (9)照井。
 上長山, 17-IV, 88 (6)照井。
 雨 山, 30-IV, 88 (2)山崎。
 4) *Uloma marseuli* NAKANE 7) *Plesiophthalmus laevicollis* HAROLD
 エグリゴミムシダマシ ヒメキマワリ
 羽 山, 4-VII, 86 (1)照井。
 8) *Plesiophthalmus nigrocyaneus* MOTSCHULSKY
 キマワリ



A. ミツノゴミムシダマシ B. ヒメツノゴミムシダマシ

本宮山, 13-VIII, 88(3)照井。

閻 苅, 22-VII, 79(2)照井。

雨 山, 31-VII, 88(3)照井。

“ 7-VIII, 88(3)照井。

大 代, 1-VIII, 88(1)山崎。

“ 21-VIII, 88(1)山崎。

短 報

ヨツボシチビヒラタカミキリ, クリチビカミキリ愛知県内の記録

蟹 江 昇

筆者は東加茂郡足助町大多賀において表題のカミキリムシ2種を採集しているので報告する。いずれも伐採地のソダよりたたき網で採集したものである。

1. ヨツボシチビヒラタカミキリ *Phymatodes quadrimaculatus* GRESSITT

4 ex. 10-V-1983

2 ex. 28-V-1983

2. クリチビカミキリ *Sybra kuri* OHBAYASHI et HAYASHI

1 ex. 28-V-1983

段戸裏谷のカミキリ数種の記録

蟹 江 昇

愛知県北設楽郡設楽町裏谷において県内では記録の少ないカミキリムシ数種を採集しているので報告する。

1. ヤマトキモンハナカミキリ *Judolia japonica* TAMANUKI

1♂ 12-VII-1983

2. タケウチホソハナカミキリ *Strangalia attenuata* LINNE

1♂ 29-VII-1983

3. ハコネホソハナカミキリ *Idiostrangalia hakonensis* MATSUSHITA

1♀ 26-VII-1976

4. イガブチヒゲハナカミキリ *Corymbia igai* TAMANUKI

1♂ 26-VII-1976

5. トサヒメハナカミキリ *Pidonia approximata* KUBOKI

1♂ 3♀ 7-VI-1981

6. ヤマトシロオビトラカミキリ

Kazuoclytus lautoides HAYASHI

1♀ 23-V-1982

7. フタモンホソヒゲナガカミキリ *Anamanum griseatum* BATES

1♂ 12-VI-1983

8. カスガキモンカミキリ

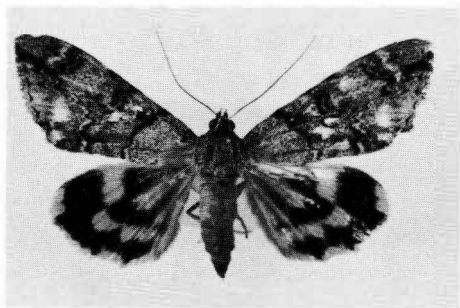
Paramenesia kasugensis SEKI et KOBAYASHI

1♂ 19-VII-1981

安城市でジョナスキシタバを採集

小 鹿 亨

筆者は安城市において以下のようなジョナスキシタバ *Catocala jonasii* BUTLER を採集しているが、安城市において、本種は稀であると思われるのでここに報告する。



〈データ〉1988-VI-25

安城市里町 1♂

今回得た個体は、夜間灯火に飛来したものである。

本個体は、河川敷内の小道に踏みつけて生じた小さな裸地で、ベニシジミやヤマトシジミを追い払いながら占有行動をとっていた。採集時の筆者の不注意で鱗粉がややはげ落ちたが、比較的新鮮な個体である。筆者は以前にもほぼ同じ場所で、夏型の個体を採集しており、一時的にせよ本種が当地で発生している可能性が高い。

末筆ですが、発表を勧めてくださった岡崎市立葵中学校の杉坂美典先生に感謝します。

安城市でトラフシジミを採集

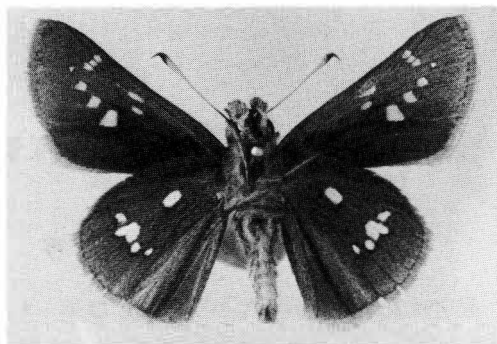
安城市におけるミヤマチャバネセセリ春型の記録

小 鹿 亨

小 鹿 亨

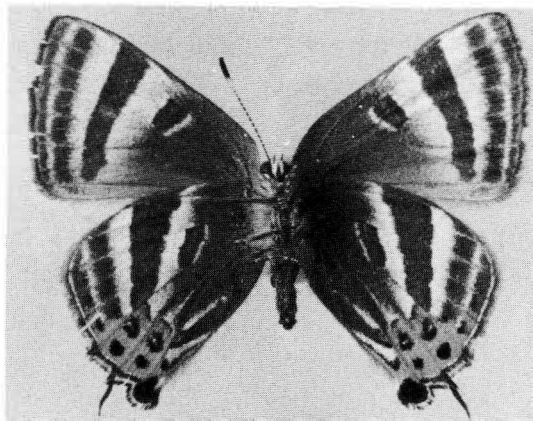
ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* BUTLER の低地で採集記録はまれなようである。安城市においては村高町において夏型の採集記録があるのみである。筆者は以下のように本種の春型♂を採集しているので報告する。

筆者は安城市においてはかなり少ないと思われるトラフシジミ *Rapala arata* BREMER を、以下のように採集したので報告する。



〈データ〉 8-V-1988

安城市村高町矢作川堤防 1♂



〈データ〉 1988-IV-24

安城市木戸町春日神社 1♀

タンポポの花に吸蜜にきていた本個体を採集した。